

満州で 二宮報徳会 第115回定期講演 会

「朝鮮で聖者になった日本人、 満洲でサンタクロースになった日本人」

まさなお
～重松麟修の人生と関東軍の真実

◆講師 「近現代史研究家」 田中 秀雄 先生

大学時代から近代史を勉強し始めたが、日本の悪さばかりの記述ばかりでうんざりし、なんとかこれを打ち破りたいと四苦八苦しながら研究を続けた。中村粲先生の『大東亜戦争への道』に出会い、光明を見出した。戦前の資料を見つけることが大事と分かり、その渉獵の末にラルフ・タウンゼントとの出会いがあった。タウンゼントは満洲事変を認めている。彼に支那の実情を教示した支那在住32年のジョージ・ブロンソン・リーは、満洲国の顧問となり、関東軍司令官本庄繁の高潔な人柄にほれこみ、関東軍は満洲人のサンタクロースだと述べた。朝鮮人に聖者と呼ばれた重松麟修との出会いも、彼の戦前の自伝を偶然発掘したことにある。一般的に暗黒とされる戦前は、自虐史観を排撃するための宝庫なのである。(田中)



- ◆日時：平成28年9月11日
(日曜日) 午後1:30～4:30
(受付 午後1:00)
- ◆会場：靖国会館「偕行の間」
靖国神社内 電話 03-3261-8042
- ◆参加費 1,500円
(学生500円)
- ◆終了後 懇親会があります

◆講師略歴

昭和27年生まれ。慶應大学文学部卒。著書『映画に見る東アジアの近代』『石原莞爾の時代』『石原莞爾と小澤開作』『朝鮮で聖者と呼ばれた日本人』『日本はいかにして中国との戦争に引きずり込まれたか』訳書『中国の戦争宣伝の内幕』『満洲国建国の正当性を弁護する』共訳書『暗黒大陸中国の真実』等

交通

- ◆JR線
中央線／総武線
「飯田橋駅(西口)」
「市ヶ谷駅」より徒歩10分
- ◆地下鉄
・東西線／半蔵門線／都営新宿線
「九段下駅(出口1)」より徒歩5分
・有楽町線／南北線／都営新宿線
「市ヶ谷駅(A4出口)」より徒歩10分
・東西線／有楽町線／南北線
「飯田橋駅(A2出口、A5出口)」
より徒歩10分



◆主催 及び 連絡先



二宮報徳会 (会長 藤田ひとみ)

〒194-0043 東京都町田市成瀬台4-16-13 藤田方
電話 080-5543-0111 Fax 042-725-7718
houtoku_kai@yahoo.co.jp

<http://houtokukai.wix.com/tokyo>

※当日受付もありますが、資料の準備等の都合により、なるべく事前に上記のいずれかにご連絡ください。